奈良時代

名前

問1　奈良時代の743年に出された、新しく開墾した土地の永久私有を認める法律と、その法律が日本の社会に与えた影響について、正しい説明はどれか。（2019年 長野県公立入試 類似）

1. 三世一身の法が制定されたことで、三代にわたる土地の私有が認められ、農民の開墾意欲が永続的に維持されるようになった。
2. 班田収授の法が制定されたことで、農民に口分田が与えられるようになり、公地公民の原則が確立された。
3. 太閤検地が実施されたことで、土地の所有者が確定し、年貢を納める責任者が明確になった。
4. 墾田永年私財法が制定されたことで、貴族や寺院による大規模な土地の私有が進み、荘園が広がるきっかけとなった。

問2　東大寺の正倉院には、青く透き通ったガラス製の坏（容器）など、当時の日本にはなかった高度な技術による宝物が多数収められています。これらの宝物が日本に伝わった経路や背景について述べた文として、適切なものはどれですか。（2026年 沖縄県公立入試 類似）

1. 琉球王国の中継貿易により、東南アジア諸国の特産品が九州を経て近畿地方へ運ばれた。
2. 南蛮貿易により、ヨーロッパの宣教師がキリスト教の布教とともに献上した。
3. 鎌倉時代の日宋貿易を通じて、中国から最新の製紙技術とともに輸入された。
4. シルクロードを経由して西アジアなどから唐へ伝わった文化が、遣唐使によって日本へもたらされた。

問3　奈良時代に編纂された歴史書である『日本書紀』の説明として、記述の形式や内容に合致するものを次の中から選びなさい。（2017年 京都府公立入試 類似）

1. 出来事を年代順に記述する「編年体」という形式で書かれている。
2. 日本に現存する最古の歌集であり、防人の歌などが収められている。
3. 稗田阿礼が読み上げた内容を太安万侶が筆録したものである。
4. 地方の産物や地理、伝承をまとめて政府に報告するために作られた。

問4　飛鳥時代後期から行われた、戸籍に登録された人々に口分田を分け与え、その人が死ぬと国に返還させた土地制度はどれか。（2023年 青森県公立入試 類似）

1. 三世一身の法
2. 班田収授法
3. 墾田永年私財法
4. 公地公民制

問5　奈良時代にまとめられた日本最古の歌集で、天皇や貴族から、東国から九州の警備に赴いた防人（さきもり）まで、幅広い層の人々の歌が収められている作品はどれか。（2020年 岡山県公立入試 類似）

1. 万葉集
2. 古今和歌集
3. 新古今和歌集
4. 竹取物語

問6　7世紀後半に、九州地方へ「防人」が配置されることになった歴史的な背景と、その状況を説明した文として最も適切なものはどれですか。（2026年 神奈川県公立入試 類似）

1. 北方の蝦夷の勢力に対抗するため、東北地方に多賀城を築き、周辺の警備に東国の武士を派遣した。
2. 白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に大敗したため、九州沿岸の警備を目的として東国の農民が送られた。
3. モンゴル帝国（元）の襲来に備えるため、九州に領地を持つ御家人を動員して、博多湾沿いに石塁を築かせた。
4. 律令国家の形成に伴い、全国から集められた優秀な兵士を、天皇の住む都を警備するために配置した。

問7　聖武天皇が国ごとに国分寺を建て、都に大仏を造立した歴史的な背景や目的を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2023年 高知県公立入試 類似）

1. 遣唐使によってもたらされたキリスト教の教えを、日本の伝統的な信仰に融合させようとした
2. 墾田永年私財法によって得られた富を使い、仏教文化を地方まで普及させようとした
3. 有力な貴族たちの勢力を抑えるため、共通の宗教である仏教を用いて天皇への忠誠心を高めようとした
4. 疫病の流行や政情不安などの社会的な混乱を、仏教の力によって鎮めようとした

問8　奈良時代にまとめられた日本最古の和歌集について、その特徴を説明した文として正しいものを選びなさい。（2024年 岡山県公立入試 類似）

1. 鎌倉時代に兼好法師によって書かれた、仏教的な無常観を背景とした随筆である。
2. 紀貫之らによって編集された、最初の勅撰和歌集である。
3. 天皇や貴族だけでなく、防人や農民といった幅広い階層の人々の歌が収められている。
4. 清少納言によって書かれた、宮中の様子や四季の情景を綴った随筆である。

問9　奈良時代の国家的な仏教政策において、各地の寺院で「経典（お経）」の書写が盛んに行われた理由として、当時の背景に最も合致する説明はどれですか。（2020年 東京都公立入試 類似）

1. 経典を書き写し、それを供えることで国の安泰や災いからの保護を祈るため
2. 外国との貿易において、輸出品としての価値が非常に高かったため
3. 読み書きのできない農民たちに文字を教える教科書として利用するため
4. 武士の精神修行の一つとして、厳しい自己規律を身につけるため

問10　743年に制定された、新しく開墾した土地を永久に自分のものにすることを認めた法令を何といいますか。（2022年 愛媛県公立入試 類似）

1. 大宝律令
2. 墾田永年私財法
3. 三世一身の法
4. 班田収授法

問11　奈良時代の聖武天皇は、飢饉や疫病の流行、政治の混乱といった社会の不安を取り除くため、仏教を深く信仰して国を安定させようと考えました。このような「仏教の力によって国家を守ろうとする思想」を何といいますか。（2019年 香川県公立入試 類似）

1. 本地垂迹
2. 神仏習合
3. 王土王民
4. 鎮護国家

問12　大宝律令の制定によって律令国家体制が整えられた際、地方支配のために全国は「国・郡・里」という単位に区分されました。このうち「国」の長として中央政府から派遣され、徴税や裁判などの地方行政を担った役職として正しいものを選択してください。（2024年 和歌山県公立入試 類似）

1. 荘園や公領に配置され、年貢の徴収や土地の管理を行った地頭
2. 地元の有力な豪族が任命され、代々その土地を治める郡司
3. 中央の貴族が任命され、任期を終えると中央に戻る国司
4. 武家政権によって諸国に置かれ、軍事や警察を担った守護

問13　奈良時代、西アジアなどの産物が唐を経由して日本に伝わりました。このように、ユーラシア大陸の東西を結び、国際的な文化交流を支えた陸上の交通路を何と呼びますか。（2024年 富山県公立入試 類似）

1. 中山道
2. 東海道
3. 万里の長城
4. シルクロード

問14　701年に制定された大宝律令において、法体系の名称である「律」と「令」がそれぞれ示している内容の組み合わせとして、最も適切なものはどれですか。（2018年 滋賀県公立入試 類似）

1. 土地の売買に関する規定と、年貢を徴収するための計算に関する規定
2. 軍事に関する規定と、外国との外交を行うための儀礼に関する規定
3. 仏教の儀式に関する規定と、貴族の身分を決定するための階級に関する規定
4. 刑罰に関する規定と、政治を行うための組織や運営に関する規定

答え合わせ・解説

問1	答え 4 墾田永年私財法が制定されたことで、貴族や寺院による大規模な土地の私有が進み、荘園が広がるきっかけとなった。	奈良時代、人口の増加に伴い、政府が農民に分け与える土地（口分田）が不足しました。これに対処するため、743年に「墾田永年私財法」が制定され、新しく開墾した土地の永久私有が認められました。この法により、豊富な財力を持つ貴族や寺院が大規模な土地を所有する「荘園」が形成されるようになり、それまでの「すべての土地と人民は国家のもの」とする公地公民の原則が崩れていくことになりました。
問2	答え 4 シルクロードを経由して西アジアなどから唐へ伝わった文化が、遣唐使によって日本へもたらされた。	正倉院の宝物には、ペルシャ（西アジア）風のデザインやガラス工芸品が含まれています。これらはシルクロードを通って唐に集まったものが、遣唐使などの往来によって日本まで伝えられたもので、当時の日本が国際的な交流網の東端に位置していたことを示しています。
問3	答え 1 出来事を年代順に記述する「編年体」という形式で書かれている。	中国の歴史記述の方式を取り入れ、神代から持統天皇までの出来事を時系列に沿って記録しています。選択肢にある稗田阿礼や太安万侶が関わったものは『古事記』、歌集は『万葉集』、地方の記録は『風土記』を指します。
問4	答え 2 班田収授法	唐の均田制にならって導入された制度であり、6歳以上の男女に口分田が班給された。これにより国家が土地と人民を直接支配し、税収を確保しようとした。墾田永年私財法は後に土地の私有を認めた法であり、この制度の崩壊につながった。
問5	答え 1 万葉集	万葉集は奈良時代末期に成立した日本最古の歌集です。その最大の特徴は、収録されている歌が天皇や貴族といった特権階級のものだけでなく、防人や農民といった庶民の歌まで含まれている点にあります。これに対し、古今和歌集は平安時代に成立した最初の勅撰和歌集であり、時代や性質が異なります。
問6	答え 2 白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に大敗したため、九州沿岸の警備を目的として東国の農民が送られた。	当時の倭国は百済を支援して朝鮮半島へ出兵しましたが、白村江の戦いで大敗を喫しました。これを受けて中大兄皇子（天智天皇）は、対馬や壱岐、九州北部に防人を置き、さらに水城や大野城などの防衛施設を築いて唐や新羅の侵攻に備えました。他の選択肢にある「都の警備」は衛士、「蝦夷の対策」は鎮守府、「モンゴルへの備え」は元寇（鎌倉時代）の説明であり、時代や目的が異なります。
問7	答え 4 疫病の流行や政情不安などの社会的な混乱を、仏教の力によって鎮めようとした	当時の社会では天然痘の流行や、藤原広嗣の乱といった政治的な争いが絶えませんでした。聖武天皇は、自分一人の力では解決できないこれらの不安を取り除くため、仏教の教えに救いを求めました。これが「鎮護国家の思想」であり、単なる信仰だけでなく、国家の制度として仏教を位置づける目的がありました。
問8	答え 3 天皇や貴族だけでなく、防人や農民といった幅広い階層の人々の歌が収められている。	万葉集は奈良時代末期に成立したとされる日本最古の和歌集です。約4500首もの歌が収録されており、その作者が天皇や貴族といった有力者だけでなく、九州の警備に当たった防人（さきもり）や東国の人々（東歌）など、身分を問わず多岐にわたっている点が大きな特徴です。当時の人々の素朴な感情や生活が直接的に表現されています。
問9	答え 1 経典を書き写し、それを供えることで国の安泰や災いからの保護を祈るため	奈良時代の仏教は、個人の救済よりも「国家の平和」に重点が置かれていました。経典を書き写す（写経）という行為は、それ自体に大きな功徳があり、災いを退け、国を豊かにする力があると信じられていたため、政府によって組織的に推進されました。
問10	答え 2 墾田永年私財法	聖武天皇の時代である743年に出されたこの法令は、自分で新しく切り開いた土地を永久に私有（私財）することを認めたものです。それまでの「三世一身の法」では三代（または本人一代）限りの所有しか認められていませんでしたが、この法令によって私有地を認める方針へと大きく転換しました。
問11	答え 4 鎮護国家	8世紀の日本では、天然痘の流行や凶作、貴族間の政争といった深刻な社会不安が続いていました。聖武天皇は、仏の慈悲や加護を政治に取り入れることで、こうした災いから国を救い、安泰に導こうと考えました。この思想を背景に、全国への国分寺・国分尼寺の建立や、東大寺の大仏造立が進められました。
問12	答え 3 中央の貴族が任命され、任期を終えると中央に戻る国司	律令国家では、全国を「国（くに）」「郡（こおり）」「里（さと）」の行政単位に分けました。最上位の単位である「国」には、中央政府から貴族が「国司」として派遣され、一定の任期（通常4年または6年）の間、地方行政全般を統理しました。これに対し、その下の単位である「郡」の長である「郡司」には、その土地の有力な豪族が任命され、終身官として実務にあたりました。この中央派遣（国司）と地元採用（郡司）の組み合わせによって、効率的な地方支配を目指した点が重要です。
問13	答え 4 シルクロード	奈良時代には遣唐使の派遣などを通じて、唐との交流が盛んに行われました。当時の唐は、ユーラシア大陸を横断するシルクロード（絹の道）を通じて西アジアや中央アジアの文化が流入する国際色豊かな国でした。これらの産物や文化が日本にもたらされたことで、正倉院の宝物に見られるような、国際的な特徴を持つ天平文化が発展しました。
問14	答え 4 刑罰に関する規定と、政治を行うための組織や運営に関する規定	古代の法体系である律令において、「律」は犯罪に対して科される刑罰についてのルールを指し、「令」は役所の仕組み、地方行政、税制など、政治を円滑に進めるためのルールを指します。これらが組み合わさることで、天皇を中心とした中央集権的な国家の仕組みが整えられました。